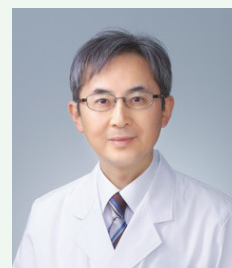


特殊診療施設

顎口腔機能治療部

TEL 022-717-8412(外来)

完全予約制



部長
五十嵐 薫 教授



診療科WEB



外来担当医表



地域の先生方へ

顎口腔機能治療部は、頭蓋顔面領域の先天性疾病を有する患者さんを主な対象として、調和のとれた機能的な歯並び・咬み合わせを形成し、良好な発音ができるようにする専門外来です。当治療部は東北大学病院唇顎口蓋裂センターにおいて、院内他科とチーム医療を実施しています。

診療内容

当部には以下の2つの治療室があります。

矯正歯科治療室(頭蓋顔面先天異常グループ)では、口唇裂・口蓋裂などの頭蓋顔面領域に先天性疾病のある小児を主な対象として、生後間もなくから矯正歯科治療を行っています。術前顎矯正、顎整形治療、本格矯正歯科治療、顎矯正外科手術(骨延長を含む)の際の術前・術後矯正などが含まれます。

言語治療室では、発音障害のリスクを抱える患児(者)の言語発達や発音状態を定期的に評価し、必要に応じて言語訓練を実施しています。診療技術部歯科技術部門に所属する言語聴覚士2名が配置されています。

得意分野

裂が大きく、重度の組織変形を伴う唇顎口蓋裂の新生児に対して、硬質レジンで作製した口蓋床を用いた術前顎矯正治療を行っています。授乳が楽になるとともに、裂を狭め、裂側鼻軟骨を矯正することによって、口唇形成手術等を容易にする効果が得られます。

マルチブラケット装置による本格矯正歯科治療では、歯科矯正用アンカースクリューを積極的に併用しています。その結果、良好な治療結果が得られるようになっていきます。

口蓋裂に特有の器質性構音障害に対する専門的な言語訓練を行っています。院内他科や地域のことばの教室と連携して、質の高い言語治療を提供しています。



主な対象疾患

口唇裂・口蓋裂
顔面裂(斜顔裂、横顔裂、正中顔裂など)
ベックウィズ・ヴィーデマン症候群
マルファン症候群
先天性外胚葉形成不全
頭蓋骨縫合早期癒合症
(クルーゾン症候群、アペール症候群など)
ロバンシークエンス(ピエール・ロバン症候群)
トリーチャー・コリンズ症候群
第一第二鰓弓症候群
(ヘミフェイスアルマイクロソミア)
鎖骨頭蓋骨異形成症
軟骨無形成症
染色体異常(ダウン症候群、ターナー症候群など)
6歯以上の先天性部分無歯症
その他の顎・口腔の先天異常
顎変形症
前歯及び小臼歯の永久歯のうち3歯以上の萌出不全
に起因した咬合異常



言語治療の様子